



子どもの村東北 ニュースレター

つながるしあわせ

R.Campbell



みんなで作って、食べて、たくさん遊んだよ!

第14回

村からのメッセージ ごあいさつ



子どもの村東北 理事

おじま まさはる
小嶋 匡晴

大崎市議会議員・大崎市青少年
問題協議会委員・宮城県法人
連合会青年部会副会長・
鳴子温泉観光協会常務理事

日頃から子どもの村東北にご支援を頂いている皆様へ心より感謝申し上げます。

2016年度から理事を務めております小嶋と申します。2014年子どもの村が開村し、これまで事業を続けられたのは、数多くの支援会員・企業、行政など関連の方々のご理解とご協力の賜物と存じております。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、子どもの村東北と現在の社会環境について少し触れさせて頂きたいと思います。2023年4月「こどもまんなか社会」の実現に向けた政府の司令塔として『こども家庭庁』が発足しました。「こども家庭庁」の活動は、幼児期までのこどもの健やかな成長のための環境づくりや、家庭における子育て支援等、具体的な政策展開することが中心であります。それと同時に『こども家庭庁』が創設された背景には、1994年日本が批准した「子どもの権利条約」が関係しています。約30年前に批准しましたが、国の問題意識は低く、国連からは状況を改善するよう繰り返し勧告を受けてきました。この条約は大きく4つの柱から成り立っており、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」であります。

子どもの村東北は設立・開村当初より「子どもの権利条約」を基本として、社会的養護を推進して参りました。社会的養護は4つの権利の象徴であり、保護者のいない児童、保護者に監護させることが適当でない児童や様々な課題を抱える児童が公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、元気でのびのびと育って欲しいという願いが込められています。

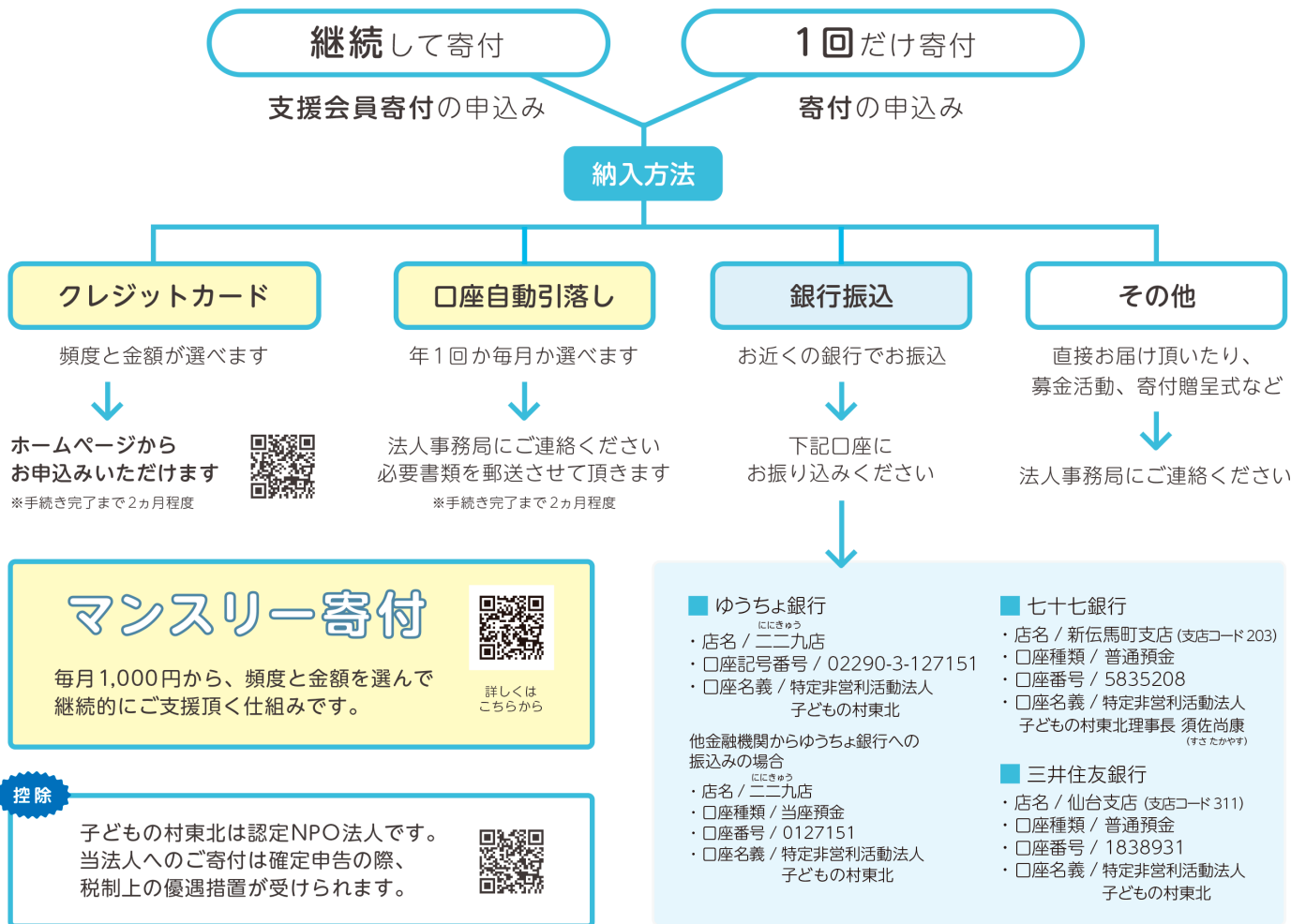
子どもの村東北の活動は認知されるまで非常に時間がかかり、現在も様々に苦慮しておりますが、『こども家庭庁』の発足とともに、興味を持っていただければ幸いと思っております。

今後も我々はこの活動を通じて「こどもまんなか社会」の実現を目指していきたいと思っておりますので、引き続きのご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

いろいろな 支援のかたち

子どもの村東北は、その多くがご寄付でまかなわれています。
ここでは、寄付や支援の方法をご紹介します。どうかご支援ご協力をよろしくお願い致します。

寄付の申込み方法



寄付以外の支援方法

遺贈

遺言により、ご自身の財産を相続人以外の特定の人や団体に分け与えること。
遺贈先として子どもの村東北をご指定頂くと子どもたちの未来に役立てることができます。

古品回収

家の中に眠る「お宝」をダンボールに入れて贈るだけで寄付ができる「お宝エイド」。
切手、ブランド品、骨董品、カメラ、楽器など、大掃除や引越しを機にぜひ検討してみてください。

募金箱・自販機の設定

ご支援を呼びかけるため、店舗レジ横や、病院や施設、会社の受付など、募金箱の設置場所を探しています。
同様に、売り上げの一部が寄付される支援自販機の設置場所も探しております。

応援グッズ

商品をご購入頂くことで、売り上げの一部が子どもの村東北に寄付されます。
楽曲 CD、ドライフルーツ、大麦グラノーラ、イノシシ革のシューズなど。

詳しくはホームページをご覧ください <https://cvtohoku.org>

NPO法人 子どもの村東北

子どもの村東北 子育て支援事業

子育て応援フォーラム2025

2025年10月2日(木) 13:00-16:30

会場: せんだいメディアテーク(7F) スタジオシアター

第一部 基調講演

講師: 東北医科薬科大学 福地 成 氏

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター: 子どもの村東北スーパーバイザー
川村 玲香 氏
臨床心理士・認定専門公認心理師

イベント

「村カフェ」& 「茂庭台プレイパーク」

2025年10月18日(日) 10:30-12:00

会場: 子どもの村東北 村庭及び家族の家
(雨天時は杜のホールを利用)

大人はカフェで少しだけのんびり過ごせます。子ども達は村庭でいろんな遊びの体験ができます。

お申し込み・お問い合わせ: 022-281-9653

2025年度(第14年度)総会が6月22日に開催されました。

NPO法人子どもの村東北2025年度総会が6月22日、子どもの村杜のホールで開催され、2024年度事業報告及び決算、2025年度事業計画案及び予算案が承認されました。

2024年度は、地元の企業、団体の協賛金のご支援や多数のボランティアの皆様のご協力により、地域の方々を対象に夏まつりやミニクリスマス会を開催し、地域や近隣の児童養護施設の子どもたちや多くの人たちで賑わいました。

昨年度は、「ACTすこやか子育て講座」を開発したアメリカ心理学会の皆さんに村を視察頂くとともに、ACTファシリテーターとの勉強会を開催し、村の今後の活動に大きな道筋をつけることが出来ました。

2025年度におきましても当法人が目指しているビジョン「すべての子どもに愛ある家庭を。」の具体的な実現に向けて、支援が必要な子どもや家庭などに対し、常に当事者に寄り添い、プッシュ型、アウトリーチ型の支援を届ける活動のほか、地域との交流や子どもの遊び場やイベントを通じて、保護者、養育支援者のリレーション構築や社会との関わりを体験する子どもの成長を支援します。

そのため組織運営体制の強化のほか、ボランティアや専門家、支援・協力者の更なる拡大と地域資源との連携を図りつつ「こどもまんなか」を意識した質の高いリレーションの拡大実現のために持続可能な事業を展開してまいります。

子どもの受入状況

区分	年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	計
新規に里親委託等された子どもの数(A)		2	2	2	1	0	6	0	0	0	1	0	14
退村した子ども等の数(B)		0	0	3	2	0	2	4	1	1	0	1	14
今年度里親委託等されていた子どもの数(C) (C=前年度C-前年度B+今年度A)		2	4	6	4	2	8	6	2	1	1	1	-
一時保護の子どもの数(D)		0	2	4	5	12	16	7	2	5	7	5	65
里親レスパイトケアの子どもの数(E)		0	2	7	2	6	2	3	1	0	1	1	25
家庭生活体験事業の子どもの数(F)		0	2	4	2	2	2	2	2	2	0	0	18
短期預かりの子どもの数D~F(G)		0	6	15	9	20	20	12	5	7	8	6	108
その他の子どもの数(H)		0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	6
村で養育した子どもの数 (I) (I=前年度I+A+G+H)		2	11	29	39	59	86	99	104	111	120	128	-

※2024年度(2025年3月31日現在)

支援企業・団体 \ 応援 / メッセージ



晩翠画廊
BANSUI GALLERY
マネージャー
服部 友里子 様



株式会社 ロジック
代表取締役
大槻 正信 様

株式会社ロジックは、電気・通信工事会社で、主にホテル関連のシステム機器の販売、工事を行っており、今年度で38年になります。

「子どもの村東北」様とは職員の方からお話をいただき、お付き合いをさせていただいています。

未来を担う子供たちが自由に、何の心配もなく将来の夢を叶えられる環境を整えられるように応援していきます。

子どものころに刻んだ思い出は、生涯、鮮烈に心にのこり、その後の人生、生き方に深く、大きな影響を及ぼしていきます。

子どもたちを守るのは私たち大人であり、地域であり、国が守らなければなりません。

「子どもの村東北」から素晴らしい人材が沢山輩出してほしいよう、子どもたち、職員の方々に支援させていただきます。

これからもよろしくお願いいたします。

晩翠画廊は1997年に仙台市内の晩翠通りにオープンし、2016年に現在の広瀬通に移転しました。

市民の皆様にとって気軽にアートをお楽しみいただける場所となることを目指し、火曜から日曜までの6日間ごとに週替わりで東北ゆかりの作家の絵画・工芸・彫刻等の作品をご紹介します。

「子どもの村東北」の支援チャリティ展は2019年に初めて開催し、第1回開催時からハ花Vをテーマにした作品を展示・販売してきました。

会期中は会場がひととき華やかな雰囲気になり、現在ではお客様はもとより参加作家の皆様からも人気の展覧会となりました。

これからもアートを通して「子どもの村東北」の取り組みをお知らせしていく機会をつくり続けてまいります。

ご支援いただいた企業・団体のみなさま 2024年11月1日～2025年5月31日 *敬称略・順不同

支援会員寄付

おおぬま小児科、ANK 総建株式会社、黒川こころの応援団、穴戸美香コーチングオフィス、有限会社華丸ラーメン、ハイファイヴ英語学院

一般寄付

特定非営利活動法人日米心理研究所、情報労連四国ブロック支部、情報労連宮城県協議会、高知県の町消防団枝川分団、東北新生産業株式会社、医療法人こだま小児科、夏にうたう合唱祭、桧原こひつじ幼稚園、日本基督教団仙台五橋教会愛隣こども園、吉田小児科医院、第一光の子保育園、社会福祉法人仙台愛隣会殻町保育園、株式会社リードスペシャリティーズ、ぬい処結の会、とどけ和の響き、株式会社バイタルネット

支援会員 個人会員 942名 / 団体会員 94企業・団体 *2025年5月31日現在

助成いただいた団体さま

宮城県 令和7年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金
NPO法人ツルハ医療・介護サービス協会 令和6年度地域支援活動団体に対する奨励金

チャリティー募金に

みちのくノルディックウォーキングネットワーク

ご協力いただいた団体さま

晩翠画廊 「あなただけの花」展

物品ご寄贈・自動販売機・募金箱の設置など、あたたかいご支援ご協力で感謝申し上げます。



認定特定非営利活動法人

子どもの村東北

資料請求・お問い合わせ / TEL:022-281-8837

WEBサイトは で検索ください。

【法人事務局】

TEL : 022-281-8837 / E-mail : info@cvtohoku.org

【子どもの村】

TEL : 022-281-9653 / E-mail : center-t@cvtohoku.org

住所 : 〒982-0252 仙台市太白区茂庭台2丁目16-9-1

FAX : 022-281-9659

※法人事務局と子どもの村の住所・FAXは共通となります

URL : <https://cvtohoku.org/>



※当法人は認定NPO法人です。当法人へのご寄付は確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。

子どもの村東北